

専門分野・基礎看護学 授業計画

授業科目及び時間数	症状に応じた看護 1単位 30時間		
開講時期	1年次後期		
担当教員	白鳥智美	実務経験	有
<p><科目のねらい></p> <p>すべての症状は、心身に苦痛をもたらすばかりではなく、その人の食事、排泄、清潔、更衣、活動、休息など日常生活を崩す。また、緊張、不安、恐怖、無力感、自尊感情の低下など心理的問題を生じさせる危険性もある。さらに、身体的・心理的問題は、過剰な依存や孤独などの対人間関係の問題、家族や職場など社会的問題も引き起こす可能性がある。</p> <p>看護師は、様々な症状とその原因・誘因に関する情報を収集し、その原因・誘因がどのようなメカニズムでその症状を発生・悪化させているのか、さらに、その症状がその人の日常・社会生活にどのような影響を及ぼしているのか、その症状が持続することで二次的問題を生じさせる危険性があるのかなど分析する能力が必要である。それらのアセスメント・診断結果を基に、予防・軽減・解決できるよう個別的な援助を計画・実施・評価・修正できる能力が必要とされる。そこで、症状に応じた看護を行うにはどうすべきかグループワークを通し、学びを深めることをねらいとしている。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者に生じている症状の発生機序を述べるができる 2. 患者に生じている症状が日常生活に与える影響を根拠とともに述べるができる 3. 症状に応じた必要な援助方法を根拠とともに説明できる 			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 症状に応じた看護とは 2. 頭痛のある患者の病態生理と看護 1) 症状の発生機序 2) 観察ポイントとアセスメントの根拠 3) 基本的看護援助	講義	
2回目	1. 頭痛のある患者の看護	グループワーク 講義	
3回目	1. 発熱・易感染のある患者の病態生理と看護 1) 症状の発生機序 2) 観察ポイントとアセスメントの根拠 3) 基本的看護援助	講義	
4回目	1. 発熱、易感染のある患者の看護	グループワーク 講義	
5回目	1. 咳、喀痰のある患者の病態生理と看護 1) 症状の発生機序 2) 観察ポイントとアセスメントの根拠 3) 基本的看護援助	講義	
6回目	1. 咳、喀痰のある患者の看護	グループワーク 講義	
7回目	1. 呼吸困難のある患者の病態生理と看護 1) 症状の発生機序 2) 観察ポイントとアセスメントの根拠 3) 基本的看護援助	講義	
8回目	1. 呼吸困難のある患者の看護	グループワーク 講義	
9回目	1. 腹痛、便秘のある患者の病態生理と看護 1) 症状の発生機序 2) 観察ポイントとアセスメントの根拠 3) 基本的看護援助	講義	
10回目	1. 腹痛、便秘のある患者の看護	グループワーク 講義	
11回目	1. 下痢、脱水のある患者の病態生理と看護 1) 症状の発生機序 2) 観察ポイントとアセスメントの根拠 3) 基本的看護援助	講義	
12回目	1. 下痢、脱水のある患者の看護	グループワーク 講義	
13回目	1. 全身倦怠感のある患者の病態生理と看護 1) 症状の発生機序 2) 観察ポイントとアセスメントの根拠 3) 基本的看護援助	講義	
14回目	1. 全身倦怠感のある患者の看護	グループワーク・講義	
15回目	1. 終了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験：80% 提出物、授業態度：20%		
受講生に対するメッセージ	講義後、事例展開をグループで行ったのち演習を行います。今まで学んだ知識や技術を活用し、個別性のある看護支援ができるように実践力をみにつけていきましょう		

テキスト	系統看護学講座 基礎看護学[4] 臨床看護総論 医学書院 看護過程に沿った対症看護 一病態生理と看護のポイント― 第5版 学研
参考書	今まで使用した教科書